



ボランティアニュース

221号 2022年4月号

発行 神奈川県立こども医療センター オレンジクラブ事務局

編集責任者 ボランティアコーディネーター 加藤 悦興

〒232-8555 横浜市内南区六ツ川 2-138-4 Tel. 045-711-2351 (代表)

ホームページ <https://orangeclub.kcmcvolunteer.com>

ブログ <https://blog.kcmcvolunteer.com>

こころが暖かくなる瞬間をありがとうございます

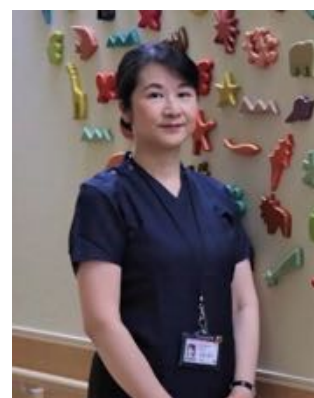
看護局 副看護局長／小児看護専門看護師

／退院・在宅医療支援室長

萩原綾子

こども医療センターで20年近く仕事をしてきて、小児看護専門看護師としての活動や看護科長、そして現職のなかでボランティアのみなさまにはいつもお世話になっています。

今日はその中で【こころが暖かくなった瞬間】をご紹介しますと思います。



① 退院困難なお子さんの院内散歩ルートが四季折々の飾りつけで感動！

病状が不安定などの理由で退院できないお子さんが、「クリスマスツリーを見に行きたい」「屋上でお花を見たい」「おひな様・鯉のぼりの前で写真を撮りたい」などの目標に向かって、ご家族とスタッフが一丸となって医療的ケアなどの練習やバギーなどの調整をする機会があります。子どもにとってクリスマスやお節句はとても大切。四季折々の飾りつけは‘みなとみらい’にも負けていません。家族と子どもの喜ぶ顔を見ながら「ボランティアさんありがとう」といつも思っています。

② 難病のお子さんが好きなアーティストのイベントに嬉しそうな表情で参加できる！

難病のお子さんにとってコンサートのチケットを入手して会場に出向く・・・結構難しいことです。1階ホールで様々な方が素晴らしいイベントを企画してくれ、夕方のホールに並んだ車椅子、点滴スタンド。その向こうにキラキラとした笑顔で手拍子する子ども達。こんな素敵な時間を共有できるなんて！感謝でいっぱいです。

③ 「今日病院に来てよかったな～」とお土産を持って笑っている子どもの表情！

ボランティアの皆さんが作ってくれる折り紙の腕時計や指輪、バルーンアートなどを得意気に見せてくれるお子さんにすれ違います。きっと病院で大人になった気分を味わっているんです。「病院に来てよかった」なんて言ってもらえてうれしいです。こども医療を楽しい場所にしてくれてありがとう。

④ コンサートに行けない、忙しい医療スタッフも上質なコンサートを聴ける！

「こども医療に来て、久しぶりに本物聴けたわ～」と嬉しそうに話しているドクターと並んでコンサートを楽しみました。そうです。私たちにとっても楽しみな時間です。先日もボランティアのみなさまが私たち看護師に素敵なカードとプレゼントをくださいました。

私たちのことも励ましてくれ、本当に感謝です。

コロナ禍でなんとなく気持ちが沈みがちな今日この頃。
ボランティアの皆さんから【こころが暖かくなった瞬間】をいただけてます。本当にありがとうございます。
ございます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

ぽぽんた通信⑦

きくちゃん

ぽぽんたのオンラインおはなし会は日々定着している。

今回、キクちゃんはつばさの木（肢体）2回目のおはなし会を担当した。

1回目（12月）は音の調整が悪く、自分の声がこだまになって返ってくる中での
おはなし会だった。でもキクちゃんのPC画面には、大きなクッションに座って一緒に
手遊びをしている子ども達が写っていた。その日のプログラムはクリスマスの絵本や
パネルシアターで楽しんで貰った。

今回もこだま音は気になったけど、子ども達の聴く力を信じて‘おはなし’を入れてみた。

日本の昔話 鳥のみ爺（鳥を飲み込んでしまったおじいさんのはなし）

アヤチューチュー、コヤチューチュー、と鳥の音が何度も繰り返されるおはなしだ。

この日は子ども達の姿が小さくてPCの画面には良く見えなかったが、動物の鳴き声遊びでは
子ども達の声が聞こえた。つばさの木の画面では、ちゃんと写って、聞こえているのだなと
安心した。プログラムは おはなし・絵本・パネルシアター・手遊び・盛り沢山だったかな？

こころの診療病棟の庭が変わりました！（その1）

昨年病院長から、ボランティアコーディネーターの私に、「こころの診療病棟の庭をきれいにし
たいと思うが、ボランティアさんたちに手伝ってもらえないか」と。看護科長に確認すると「畑が
有り、入院している子どもたちと野菜を植えて育てているがうまく収穫できない。荒れ地になっ
ていて日当たりも悪い。子どもたちが楽しめる庭にしたい。」との事でした。野菜や花の事、木の
伐採、荒れ地の改善となると総合的な相談が必要です。そこで、保土ヶ谷区狩場にある横浜市環境
創造局みどりアップ推進部環境活動支援センターで研修受講していた園芸班の宍戸さんに相談し
ました。すぐに支援センターの方が見に来てくださる事になりました。

こころの診療病棟からの希望や質問を集め、早速支援センターの木下係長や松木さんなど9名
のプロの方が、畑の土壌の採取（のち検査）、花植えの相談、日当たりをよくするための木の伐採、
そして伐採後の枝を利用して堆肥作りの場所作り等を2回作業して下さいました。今後の事も看
護科長やスタッフさんと調整しました。荒れていたこころの診療病棟の庭が、日当たりのよい庭
になり、これから入院中のお子さんとスタッフで野菜の苗を植えて育てていきます。ボランティ
アさんたちも月2回程度活動します。どのように変わっていくか楽しみです。





ボランティアの宍戸さんから支援センターの松木さんにご相談したところ、松木さんが皆さんを連れて来て下さいました。後藤病院長と。



伐採した枝で、堆肥作り場所を作成



横浜市環境創造局みどりアップ推進部環境活動支援センターの皆さんとオレンジクラブの方と病棟の看護科長～ありがとうございました！

(ボランティアコーディネーター 加藤悦興)

オレンジクラブの取り組み

ウクライナのおこさんとそのご家族へ支援募金のご協力をお願いします！

連日報道されるウクライナの悲惨な光景に胸を締め付けられる思いです。オレンジクラブでは、ウクライナの国花「ひまわり」をモチーフにした手作りブローチを、平和を祈り作っています。戦禍に苦しむおこさんとそのご家族支援のため募金のご協力をお願いします。ブローチは1つ500円です。患者図書室前のマルシェで、月曜日水曜日、金曜日 11時～14時の間御購入いただけます。集まった募金は日本ユニセフ協会の「ウクライナ緊急募金」に寄付いたします。



オレンジクラブ一同1日も早く戦争が終結されることを願っています。

＊季節飾り 5月飾り 4月2日 17名参加。

写真下は作業開始時の打ち合わせの様子



＊屋上は春を迎え花が咲き誇っています。

入院患者さんたちは18日から屋上楽しめます。



4月活動予定

2日	季節飾り（5月人形）	外来活動一月～金曜日
4日	つるし雛	患者図書一月・水・金 11時～14時
13日 20日	縫製	園芸 一第2・4火曜日 他火曜日適宜
20日	手作り・手芸	ぽぽんたお話し会（オンライン）一毎週水曜日
24日	作業	ぽぽんた本の貸し出し一第2第4水曜日
14日 28日	SOC オンラインイベント	重心作業一毎週火・金曜日

5月16日（月）ボランティア調整会議

6月7日（火）ボランティア運営会議